

寛永諸家譜

清和源氏壬四冊之内
滿政流 滿季流

内閣文庫			
番號	和	20199	
冊數	186(53)		
函號	特	76	1



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





水野 坤

水野の

貞さだ守もり

龍人くらうじん

某なにか

永正えいせい十一年十月二日死

浅草文庫

某

下野守 一初全妙と号す

某

友助 早世

忠政

右衛門大夫 父乃家督とつぐ
子孫繁多と有り見えたり

某

右大郎 尾列小河乃城主
天文二年 小河にわく生害

長勝

新右衛門尉 石見守
母ハ右衛門大夫忠政がむとめ
父右大郎生害乃時長勝二歳母これと

いさかひくくのまきく城と出く後
母二一び新原乃松平純伊守親忠と嫁
六建とふら島居た京亮忠政が外
母なり慶長二年五月八日死を八十
四歳月貞妙心大姉と号す
長務為年乃時友とく本國と出く小
糸氏康よりふ之後氏康乃命り依て
武列新原乃城を安房守氏邦よりふ
小條家没落乃存

東照大権現長務とめりて武列乃内より
八百石乃地とたまふ其後作は依く休
見御城山常書たりびは奏者書と依
とし時と和列より二子石とく之たまふ
慶長九年没後下に叙一石見守
と依り

同十四年十一月二日死を七十八歳
奇光淨名中号す

忠貞

丸門 石見守

四歳乃時

大権現ノ湯三河一七郎家

實ハ黒川右京亮正秀ガ子ナリ長子

ナキ也 仰忠貞ノ倣忠貞ト養子トシ

長子ハ忠貞ガ外祖父ナリ

六歳乃時

台徳院殿リ湯一七郎家

元和九年

台徳院殿乃命ニ倣ク

將軍家ニ入リたくキ川家

寛永八年御使番トナリ也

同九年御中院番ノ総頭トナリ

同年従父位下ニ叙ス一 石見守任也

同十年ニ總頭トシテ七百石ト叙スハ

たまニ御子トシテ都合ニ子メ百石ヲ叙ス

同十五年御小姓但乃為頭とつせし
同十九年御幸院乃為院と成くと刀同
心とあけの家

家級永樂 沃澤

● 集

水野

山城守 ヤマトの守

後五位下

法名 範鳩 六甲

守次 もりつぎ

監物 けんぶつ

後五位下

生國尾池

法名 雲室全慶 いんむろ ぜんけい

守信

河内守 後五位下

大権現まつ久事家を返

右衛門殿の御命より御使番とな家

又肥前國長崎なるびり泉州増此

守行也なれ其のち

將軍家より之なり 仰り倣く大目付

とな家

守行

守行 生國傳前

實ハ美尾の監重就が子なり 四葉乃時

守行が養子とな家重就ハ松平相持守

光伸が家信なり 重就が父志摩守澄を

池田之右衛門輝政よりつゝ守行ハ歳

小く

台徳院殿

將軍家持存一筆家

十八歳乃時奇信が家督とほぐ

家改永樂又活写

清久

みづく

水野

平左衛門

生國 み 冬河 ふゆ

大権現

台座院殿 つとむ 寺家

元和三年十二月四日京都 みやこ 病死 まひ

七十一歳

清次 きよつぎ

太郎他

生國 なまくに 幸江

大権現

台徳院殿よりつゝの家

元和二年六月四日武列ぶつりしつゝ死す

四十二歳

清定 きよた

太郎他

生國 なまくに 武苑

台徳院殿よりつゝの家

寛永三年七月十一日武列ぶつりしつゝ死す

年二十

清成 きよなり

太郎他

生國 なまくに 同前

寛永三年七月十一日武列ぶつりしつゝ死す

子 こ 成 なり 家 け

寛永十一年

將軍家一ツ久也家

家級澤おし写た

● 正長

しんちやう

大膳大吏

おほのぞうおほのたし

生國尾張

なまくにわ

大権現りつ久寺家

正春

しんしゆん

大膳大吏

生國尾張

水野

大権現より久き家

慶長十九年四月十一日江戸より死す

正行

九右衛門 生國同前

右徳院殿より流るる久き家

寛永七年四月八日死す 法名見敬

正行

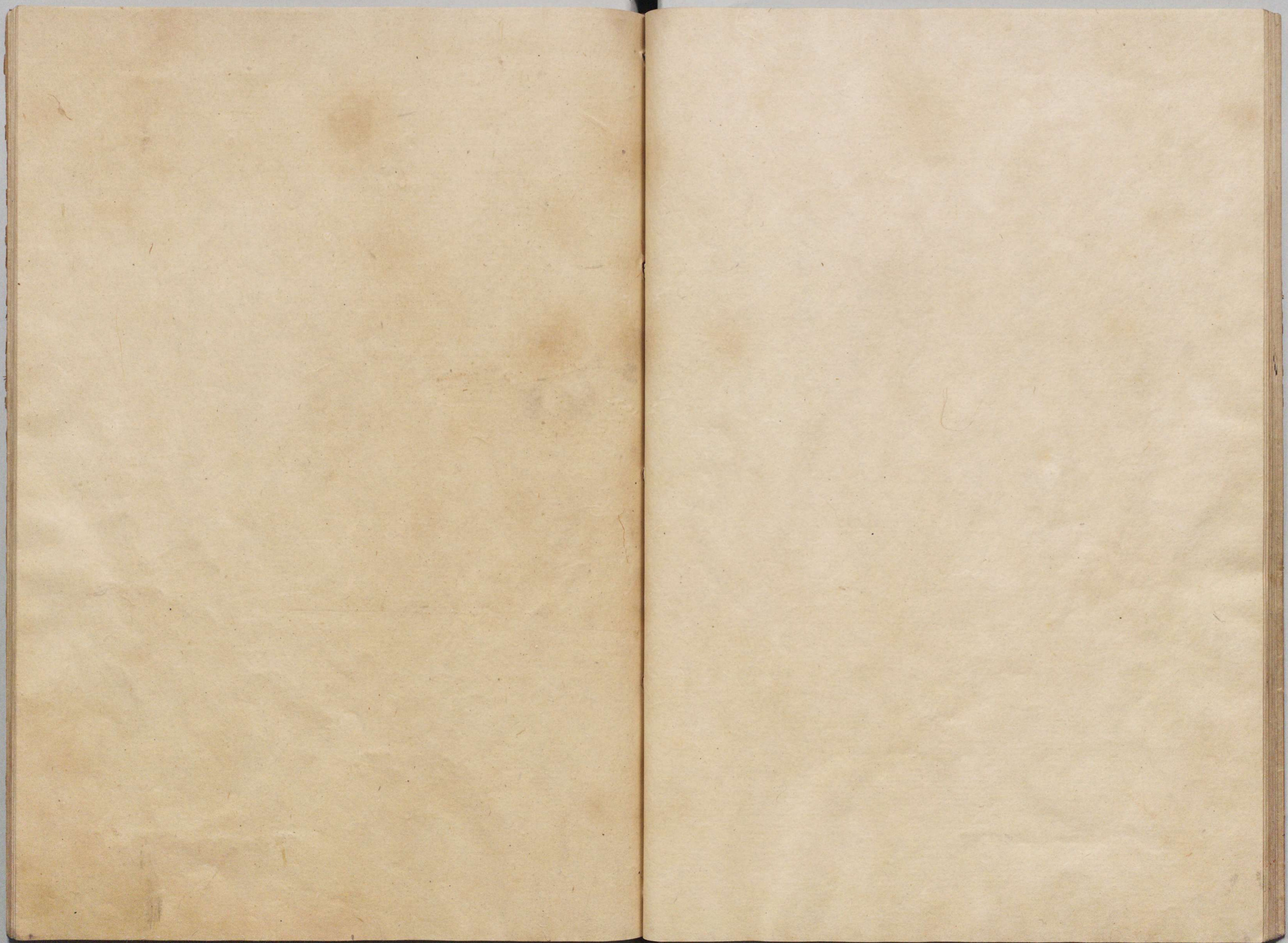
九右衛門 生國武藏

寛永八年

右軍家と稱し一家

同十五日大津藩より死す

家級澤沼永樂錢



某

水野

大膳 だいぜん

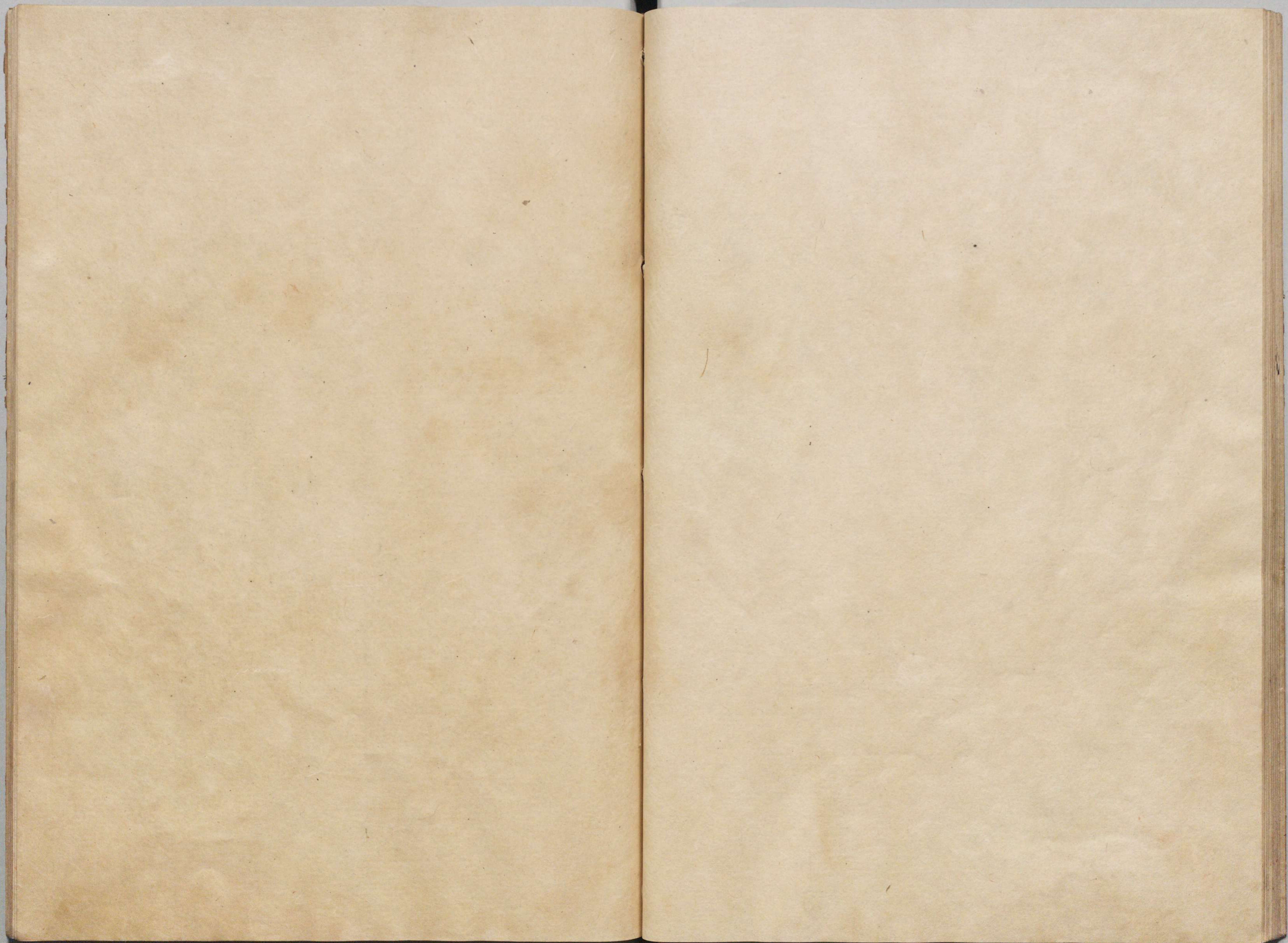
生國尾張

先祖尾州大高乃城おの一ち一ち織田おだ

信長のぶなが一ちつつ小信長のぶなが一ち後のちちちれれく

大権現おほごんげん一ち信のぶ長なが一ち武たけ州しゅう一ちくく系けい地ち三

千石とたまふ



● 豊信

水野

友右衛門尉

生國彦

大権現まつ久年家

慶長二年七月十一日八十七歳

死

法名道松

信久 ふひさ

孫助 まごすけ

生國同前

大権現より信久たぐま川家

慶長八年二月二日ふ十一歳と死す

法名英春 えいしゅん

信秀 のぶひで

孫助

生國武藏

慶長十二年十一月と幼少ち一と

大権現より湯一と家とうとち

右徳院殿よりと久とたとくとすと川と家と時と信秀と十

女と兼と

信俊

年六帛

生國同前

十女と歳と々

右徳院殿より湯一と家と

元和九年十一月二十日

均家一之

家級永樂

信勝ふら

秀水郎

生國武藏

大権現を別演松まきとて石出いしでをたうりし

台徳院殿たいとくゑんの所ところに在あり

慶長十九年大坂御陣おさかごじんに侍まじり

元和元年大坂再戦おさかさいせんの時とき伏見ふし見乃御番ごばん

と記しす

同元年どうねん作小僧せうそうく後河ごが乃御番ごばんと記しす

信郷ふた

秀水郎

生國武藏

元和九年げんわ後府ごふと記しす

台徳院殿たいとくゑんと稱なづけたり父ちちが志い跡せきと記しす

後河ごが乃御番ごばんと記しす

同年どうねん釣合つひあ小僧せうそうく後河ごが大納言おほののり忠長ただなが郷ごう

と記しす

寛永十一年

將軍家（一）の
おさね

家
級
永
樂

正勝 まさる

水野

長右衛門尉

生國尾張

まきの 織田信長より

天正九年三月十九日死す七十七歳

法名道春 だうまゐん

宗勝 しんご

善長 ぜんちやう

生國同前

大権現

右徳院殿之行久守家

元和二年正月二十九日死年六十

法名常菴 しやうあん

勝次

善長

生國同前

右徳院殿

右軍家之行久守家

正盛 しやうせい

長右衛門尉

生國 しやうこく 武藏 むさし

右徳院殿

右軍家之行久守家

正盛 しやうせい

久太郎

生國同前

將軍家より入る家

勝長 うさか

右大臣

生玉武藏

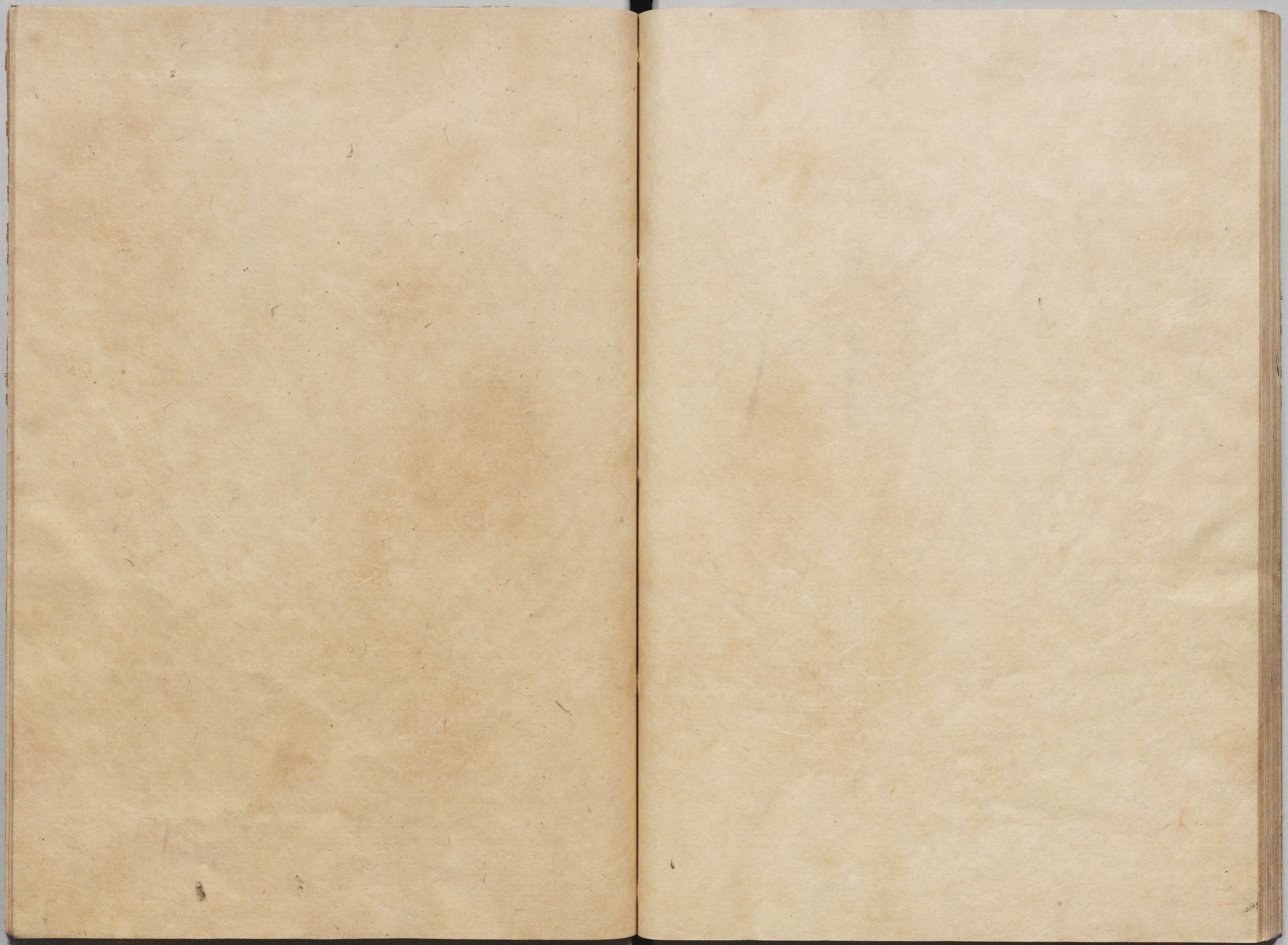
元和四年

台座院殿と評し一書家と云

將軍家より入るなり うさかのうさかのうさか 水野備後守継り うさか 属

して大御書と云ふ心

家級九月澤 うさかのうさかのうさか 澤 うさか



● 信行 のち

水野

新右衛門尉

生園之介

法名善心 せんしん

のち 水野下野 のち 下野 のち 下野

信常 のち

新右衛門尉

生園同前

法名常貞 のち

大権現より之の事

信村しんむら

彦九郎ひこ

生國同家

大権現

台座院殿より之の事

元和六年病歿五十二歳ごじふにさい

法名永高えいこう

信利しんり

却長房せつちやうぼう

生國武藏

寛永九年九月より之の事

乃軍家とありて之の事

家級永樂いけいようらく

